

# 対応時間延長に合わせ

## #8000マグネットを修正

弥生会は、小児救急医療電話相談について告知するため、「#8000マグネット」を岩国市に寄贈する活動を続けて参りました。この10月から、#8000の受付時間が午後7時から午後11時まで延長されました。

これを受け、弥生会では館副会長と、朝岡幹事が保健センターに寄贈したマグネットの未配布分にシールを貼って時間を訂正しました。

# 夜、子どもの急な病気に困ったら

## 小児救急医療電話相談

※午後7時～午前8時

※看護師及び小児科医の相談が受けられます。

# #8000

# 又は 083-921-2755



弥生会

「こどもの救急」 <http://www.kodomo-qq.jp/>

弥生会が配布しているマグネットシール



た。  
#8000マグネットを乳幼児のいる家庭に配布している岩国市母子保健推進協議会会長の三浦麗子さんは、「すぐに時間を訂正していただき、大変助かります」と

感謝されました。  
弥生会ではこれまで#8000マグネットを岩国市に7500枚寄贈しており、「急な発熱などの時に助かった」と保護者から感謝されています。

## 吉川文化再発見へ

### オープンフォーラムに250人

旧岩国藩主・吉川氏の歴史を改めて学ぶオープンフォーラムが10月12日、岩国市民会館小ホールで開催されました。岩国吉川会(隅喜彦会長)が「吉川文化再発見の幕開け」と題して主催したもので、英知の三藩主「著者で「日刊いわくに」の藤井淳史社長の基調講演に続き、第32代当主・吉川重幹(しげもと)氏のトークセッションを通じて吉川文化を見つめ直す機会になりました。市民ら約250人が聴講。吉川氏の歴史や吉川氏が

岩国にいかにか大きな恩恵をもたらしたのかを学びました。  
錦帯橋をはじめとする歴史的な文化財や大干拓、日本のエジソンと呼ばれる藤岡市助博士や日本の図書館制度の基礎を築いた田中稲城ら多くの逸材が輩出した岩国英語学所創設など岩国は旧藩時代から吉川氏の恩恵に預かり、これが基盤となって繁栄が導かれました。これらを「吉川文化」と名付け、岩国の輝く未来を創造しようという試みです。



偶会長は「吉川文化を次世代に伝えるには私たちが吉川文化に誇りを持たなくてはならない。それによって岩国の輝かしい未来が築かれる」とあいさつ。藤井氏は藤原南家の歴史を継ぐ吉川氏の歴史は鎌倉以来680年の武家政権の歴史と重なることから、その歴史を知ることで日本史が生きて生きと浮かび上がるとして源平合戦、鎌倉、戦国、江戸、幕末のいずれの時代も吉川氏が重大なかかわりをトクセツションで吉川氏の歴史を解説される(当主(右)と西村幹事長

持っていることを強調しました。さらに吉川会の西村幹事長が聞き手となって(当主と対談。重幹当主は藤原鎌足を祖とする吉川氏の家系を説明され、「岩国は毛利の最前線基地。広家は志願して岩国に入った。移封前から岩国の国づくりを練り、土木工事で綿

## 売上は18万円超

### 岩国まつりでバザー

10月19日、岩国まつりに恒例のバザーを出店しました(写真)



市内マーチングバンドのパレードが終わるのを待って、指定された位置に品物を置くが早いか、我先にお目当ての品を見つけようとお客様が集まって来られ、息つく暇もないほど大忙しでした。  
「いろいろ廻ったけど、ここが毎年品物がイイネ」結局、ここでしか買っていないのよ」と言われる方が多数おられました。  
売り上げは18万2690円になりました。このうち5万円を夏の集中豪雨災害被害者義援金として岩国市に寄付させていただき、残りは活動費として使わせていただきます。品物の提供や当日のお手伝い、ご協力ありがとうございました。

## フォーラムに参加

### 男女が共に輝く社会

10月11日(土)デザインプラザHOFUで「幸せます!つながるひろがる「男女(みんな)が共に輝く社会」をテーマに平成26年度男女共同参画フォーラムが開かれました。

岩国市からは21人が参加しました。  
山口県立大学教授・田中マキ子氏による講演「今だからワークライフバランス」がありました。超高齢化社会、漂流老人社会の到来が予測される中、老いを積極的に捉えず、若さを保って積極的に社会参加を図り自分らしい人生を送ることの重要性を語られました。